

# 第 1664 回例会報告

令和2年10月22日(木)晴

## 会長挨拶

### 日本学術会議

会長 田中久登

昨日、今日と新聞をにぎわしているのは、菅新総理のベトナムとインドネシア訪問です。先週までは日本学術会議の推薦者6名の任命拒否が盛んに議論話題になっていましたが、

かなり政治色の強い方々が日本学術会議のメンバーを構成していることも議論の対象になっています。私も仕事で大学の職員(研究室)に九州工業大学の金属学研究室に勤務しておりました経験から、それぞれの大学にも派閥、学部別競争のそれぞれのグループがあり、いい意味での競争、弊害もまたあるようです。

学部長選挙、学長選挙、学者の方々は個性の強い方々が多く、管理や経営的なものに興味のある学者、研究オンリーで人事や学閥に興味のない方も多くいらっしゃいます。今も当時と大きく変わっていないのが、各研究室の研究予算の確保です、通常の大学内の予算のほか、国への応募型の研究助成金の申請書を毎年のように出すのですが、だれがどのような基準で未来研究を判断し決定するのかよくわかりません。日本学術会議の意向が反映されるのであれば大きな利権を擁しているわけですので、ただ単に国へ提言を行うだけでなく、日本学術会議の後任選びに大きな魅力があるのは当然といえます。単に名誉だけではないと思われます。

研究費は、大学の予算配分で基本予算は決まりますが、一般的には足りません(特に工学系は実

験や装置、各種測定器にかなりのお金がかかります)国の応募型研究費は、なかなか獲得できませんので、民間の企業との共同研究や、寄付に大きな魅力があります。日本の場合には、寄付の風習があまり根付いておりませんので、集まりにくい状態です。私が金属学研究室にいたころは、古い時代ですが、大学卒論生、大学院の学生のための実験炉(金属を溶かしたり、再結晶させたりする電気炉)を作るために、廃材の煙突パイプを使い、中に耐火煉瓦を詰め、ニクロム線やカーボン発熱帯を用い作っていました。実験炉になりますとさらに、ヘリウムや、アルゴンガスといった不活性ガスで高熱体を覆う必要があったり、長時間に各部署温度を記録するなどのシステムを作る必要がありました。X線を用いた単結晶法、粉体法などといった分子構造を測定する装置、実験ごとに装置を作り直す必要もおおく、予算はいくらあっても足りないようでした。

私の教室では幸い新日本製鉄がらみの研究依頼もありましたので、少しは助かっておりました。大学の先生方は、多くが、ピーアールが下手で、企業に研究室を売り込むことはあまりやっていたようです。日本学術会議のメンバーになることは、こういった研究寄付や政府補助金、研究依頼に大きく影響しているものと思われます。日本の研究者の質は高く、報酬より研究そのものに魅力を感じる研究者も多く、今後もノーベル賞級の個性のある研究環境と研究者を育てていく必要があるとお身われます。国の自立目標であった、資源のない日本は、技術立国として発展するとの考えは今も必要なことと思われます。今後も学術会議の在り方には我々も注視していく必要があると思われます

♪出席報告		♪ニコニコBOX		♪今週のこトバ
会員数	38人	6人	15000円	岩村亀夫会員、小松孝弘会員、高林一紀会員、河西達雄会員30年間有難うございます。又おめでとうございませす。これからもよろしくお願ひします。 会長 田中久登 諏訪湖RCの宝、尾上さん岩村さん 今日はおよろしくお願ひします。小笠原 仁 本日は2人方の大先輩の含蓄あるお話を楽しみにお願ひします 大澤邦夫 誕生日 ニコニコボックスへ3000円 うれしくもあり さみしくもあり 御子柴文夫
出席対象	38人	累計	190000円	
出席者数	24人	目標額	60万円	
出席率	57.8%	達成率	30.6%	
前回修正	100.0%			



2020-2021 年度 諏訪湖ロータリー活動方針  
**「手を差し伸べ、未来へつなぐ」**  
 ウィークリーの原稿送付先は pr@suwakorc.net です

## 在籍30年表彰

2600地区よりロータリー在籍30年の表彰状が、岩村亀夫会員、小松孝弘会員、高林一紀会員、河西達雄会員に届き、田中会長から伝達されました。おめでとうございます



## 第1664回例会

職業奉仕委員会担当例会

### 会員卓話



本日は諏訪湖RCの宝ともいふべき二人の会員に卓話をお願いいたしました。「長老なのに若々しいお二人のお話を聞いて見習いましょう」と小笠原委員長より紹介がありました

### 農業教育と私

岩村亀夫

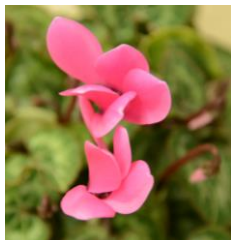
生徒数の減少などに関連して本県でも高校の再編等が推進されていますが、農業教育ではすでに昭和60年代より検討されていました。

当時県内現場の責任者として苦渋の決断ではありましたが「農業を教える」から「農業で教える」教育内容への改革等を推進するようにお願いしました。

以後幸いに先生方の努力もあり今日の元気な農業教育が実現されています。

そして私もこの農業と皆様との出会いで何とか無事の毎日です。

今年も岩村会員からシクラメンのプレゼントがありました



### 諏訪湖ロータリークラブ創立のころ

尾上正弘



現在の会員の中には諏訪湖クラブ創立メンバー(チャーターメンバー)は、5名ほどになってしまいましたが、認証状伝達式の時の様子をスライドを交えてお話いたします。なつかしい話です

